

# コロナ禍に考える 食文化と商業のこれから

TOKOROZAWA SAKURA TOWN

## 第30回 適塾路地奥サロン

新型コロナウイルス感染拡大により、これまで当たり前だった「食」のあり方も変化を余儀なくされています。

制約のある中で、年月をかけて創り上げられてきた食文化や、特に大きな打撃を受けている飲食を含めてどう持続させていくことができるのか。

使い手の視点に基づいたコンセプトづくりからテナントリーシングまでを数多く手掛ける株式会社ケイオス代表から、携わられた事例を紹介いただくとともに、今後の展開についてお話を伺います。

令和3年 1月15日(金)

18:30~ Start

参加費無料

※会場(先着申込順10名程度)及び  
オンライン(定員上限無し)併用開催

講師 澤田 充 氏

株式会社ケイオス 代表



街づくりや街ブランディングを業務とする株式会社ケイオス代表。兵庫県生まれ。関西学院大学卒。株式会社リクルートを経て、1993年に独立。

都市再生に関するアドバイザー、街づくり、社会動向・マーケット、食文化、ファッション業界、コミュニティなどの分野に関する連載コラム執筆、地方自治体や民間企業での講演、ラジオのコメンテーターとしての活動も多い。

主な実績として、大阪中心ビジネスエリア再生プロジェクト「淀屋橋WEST」、大阪梅田関西最大複合施設「グランフロント大阪ショップ&レストラン」、旧東京中央郵便局の局舎を残しながら開発した商業施設「KITTE丸の内」などのプロデュース及び、企画コンサルティング等に携わる。



会場：アルパック大阪事務所 大会議室及びオンライン開催

申込方法 弊社ホームページ若しくは下記URLの申込フォームから  
1/12(水)までにお申し込み下さい。  
右QRコードよりフォームのURL取得可能です。

<https://forms.gle/1A4y8aHPoCyyBHiy9>

※お申込み出来ない場合は、①氏名②所属③電話番号④メールアドレスを明記した上、rojiokusalon.arpak@gmail.comまでメールして下さい。

